

事務事業評価一覧(課別)

令和6年度

市民環境部環境衛生課

(単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	2,799,968	コスト	成果	
1781 合併処理浄化槽設置整備事業	86,177	↑	↑	234-01
1783 環境学習推進事業	65	→	↑	213-01
1785 狂犬病予防事業	1,173	↓	→	213-02
1786 環境美化・河川環境保全推進事業	2,210	→	→	213-03
1787 墓地維持管理事業	3,893	→	→	231-01
1789 生活排水対策推進計画策定及び進行管理事業	2,412	→	→	234-02
1791 植林地維持管理事業	390	→	→	211-01
1795 生物多様性保全推進事業	17	→	→	211-02
1796 衛生確保対策事業	508	→	→	213-04
1798 河川景観保全アダプト(里親)制度推進事業	8,682	→	→	213-05
1799 国分斎場管理運営事業	201,590	→	→	231-02
1803 資源物中間処理・保管事業	69,993	→	→	221-01
1804 資源物分別基準適合物再商品化事業	1,075	→	→	221-02
1805 資源物分別収集推進補助事業	14,520	→	→	221-03
1808 蛍光灯・乾電池処理事業	3,825	→	→	222-01
1809 ごみステーション設置費等補助事業	2,398	→	→	222-02
1810 ごみ適正処理啓発事業	337	→	→	222-03
1811 家庭ごみ減量化対策機器等購入補助事業	580	→	→	221-04
1812 家庭系一般廃棄物収集運搬事業	331,344	→	→	222-04
1814 ボランティア清掃廃棄物処理事業	8,640	→	→	222-05
1815 不法投棄対策事業	384	→	→	222-06
1816 ごみ処理場管理運営事業	1,580,093	→	→	222-07
1817 安定型最終処分場管理運営事業	2,553	→	→	222-08
1819 (仮称)霧島市クリーンセンター整備・運営事業	42,775	→	→	222-09
1820 し尿処理場管理運営事業	237,386	→	→	222-10
2211 海岸漂着物対策推進事業	1,841	→	→	211-03
2671 牧園横川クリーンステーション管理運営事業	24,105	→	→	222-11
2710 高齢者等ごみ戸別収集事業	211	→	→	222-12
2735 霧島市環境保全協会活動補助事業	23,839	→	→	213-06
2736 指定ごみ袋販売事業	146,177	→	→	221-05
2768 地域猫活動推進事業	775	↑	↑	213-07

1. 基本情報							
事務事業名	1781 ー 合併処理浄化槽設置整備事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進						
基本事業名	4. 水の安定供給と適正な排水処理			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①「安全でおいしい水の供給」「災害等からの迅速な復旧」「健全・安定的な事業運営」の3つの観点から水の安定供給を目指します。 ②下水道整備や合併処理浄化槽の普及推進・適正管理など、地域の実情に応じた排水処理を推進します。			算	款	04	衛生費
				科	項	02	環境衛生費
				目	目	01	環境衛生総務費
				事業期間		平成3年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		浄化槽法、霧島市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱
	①②市民・事業者		①安全でおいしい水を利用できる ②排水を適切に処理してもらう				
					関連計画		第二次霧島市生活排水対策推進計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽もしくは高度処理型合併処理浄化槽へ切換えを行う市民に対し補助金を交付することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し自然環境の保全を図る。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	下水道供用開始区域及び事業認可区域以外に居住している市民	下水道供用開始区域及び事業認可区域以外に居住している市民人口	人	79,032	78,400	77,589	77,800
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	合併処理浄化槽で生活排水を処理する	処理人口(合併浄化槽による処理人口)	人	63,187	64,100	62,851	64,900
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		91,642	86,177	85,687	5人槽:117基、7人槽:16基、10人槽:2基、合計:135基 (内訳) 単独処理浄化槽からの転換:96基 くみ取り便槽からの転換:39基 汚水処理人口普及率及び生活排水処理率は年々向上しており、公共用水域の水質改善が図られた。
財源内訳	国庫支出金	45,939	47,124	42,752	
	県支出金	14,403	13,674	13,276	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	31,300	25,379	29,659	

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	現在、約16%の市民が単独処理浄化槽やくみ取り便槽を利用しているが、その多くは高齢者世帯であることが予想され、補助制度があるとはいえ自己負担が必要であることなどから、ここ数年は設置基数が大幅に伸びない状況がある。このような中、国はくみ取り便槽からの転換に係る宅内配管工事に対する補助制度を開始しており、本市においても当該補助制度の創設について引き続き検討を行うとともに、県に対して補助制度の拡充等を要望していく。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

1. 基本情報							
事務事業名		1783－環境学習推進事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名		3. 環境保全意識の向上		予 算 科 目		01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)		①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。				04	衛生費
				02	環境衛生費		
				01	環境衛生総務費		
				事業期間		平成25年度～	
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	
		①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		特になし	
				関連計画		第二次霧島市環境基本計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

市民を対象とした環境学習会等を実施する事業。環境について学習する機会を提供することにより、市民一人ひとりが環境に配慮した生活や行動をとるためのきっかけ作りを行い、環境学習の推進を図る。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 市民	人口	人	122,442	123,101	121,379	122,830
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア 環境に関する関心と理解が深まる	環境学習会参加者数	人	200	250	158	250
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)	61	65	55	【緑のカーテン作り方講座(令和6年5月25日)】参加団体数:48団体(65グループ:65名) 緑のカーテンの普及と地球温暖化対策の啓発に取り組んだ。アンケートでは、85%の方が「取り組みを評価する」と回答し、91%の方が「来年も取り組みたい」と回答している。 【環境パネル展(令和6年6月10日～令和6年6月24日)】 市役所を訪れる方に対し湾奥の環境保全等について学ぶ機会を提供した。 【～縄文の森で環境学習～ネイチャーゲームをしよう！(令和7年2月1日)】 参加者数:19組59名(児童19名、同伴者40名) 豊かな自然の持つ様々な表情を楽しめる自然体験活動(ネイチャーゲーム)等を通し、自然の不思議や仕組みを学んでもらい、環境保全への意識啓発を図った。 【海岸漂着物に関する環境学習会(令和7年2月15日)】 参加者数:15組34名(児童15名、同伴者19名) 海岸漂着物についての講話と海岸での活動を通じて、海ごみが生活に与える影響について学んでもらい、環境保全への意識啓発を図った。
財源内訳				
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	61	65	55	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充
② コスト(予算)の方向性	→ 維持

近年の環境問題の動向に応じて新たなテーマの環境学習会が開催できないか検討を行うことで、より多くの市民が学習できる機会の創出を図る。
また各年代に向けて、環境保全意識を向上させる取組を計画していく必要があると考える。

1. 基本情報							
事務事業名		1785－狂犬病予防事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名		3. 環境保全意識の向上		予 会計		01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	02	環境衛生費
					目	01	環境衛生総務費
					事業期間		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		狂犬病予防法、狂犬病予防法施行令、狂犬病予防法施行規則
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画		特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止する事業。主に狂犬病予防法に基づく犬の登録や狂犬病予防集合注射を実施する。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 市内で飼育されている犬及びその所有者	犬の登録頭数	頭	5,765	6,000	5,747	5,800
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア 狂犬病予防注射を受ける	狂犬病予防注射接種率	%	75	70	73	70
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果	
事業費(千円)		1,203	1,173	1,371	狂犬病予防集合注射を春に1回実施。また、広報誌等で狂犬病予防の啓発活動を行うことにより、狂犬病の発生及びまん延の防止に努めた。 【集合注射実施結果】 春の集合注射:9日間 131会場 988頭	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	1,203	1,173	1,371		
	一般財源	0	0	0		

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	引き続き、関係機関等と連携を図り、予防注射の接種率向上に努めるとともに、集合注射の日数や会場の見直しを行い、業務の改善を図る。	
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小		

1. 基本情報									
事務事業名		1786－環境美化・河川環境保全推進事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成							
基本事業名		3. 環境保全意識の向上			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			算	款	04	衛生費		
				科	項	02	環境衛生費		
				目	目	01	環境衛生総務費		
				事業期間		平成20年度～			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市環境基本条例、霧島市生活環境美化条例		
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画		第二次霧島市環境基本計画		
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
生活環境美化・河川環境保全等に関することを普及・啓発及び推進する事業。主に市内全域への環境美化推進員及び河川環境保全推進員の配置や飼い主のいない猫の繁殖抑制対策を行う。									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)	
ア	市民	人口		人	122,442	123,101	121,379	122,830	
イ	環境美化・河川環境保全推進員	推進員数		人	67	70	69	70	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)	
ア	環境美化・環境保全に関する意識が高まる	身近な生活環境への満足度(市民意識調査)※令和6年度未実施		%	0	81	0	80	
イ	地域の環境美化等のリーダー的役割を果たす	説明会・研修会への参加者数		人	29	70	46	70	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果				
事業費(千円)		2,111	2,210	2,100	69名の環境美化推進員及び河川環境保全推進員が環境パトロールを行い、ポイ捨てごみの収集や犬のふんの放置に対する指導、不法投棄ごみの通報等の活動を通して、広く環境美化に貢献した。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	1,825	1,861	2,025					
一般財源		286	349	75					
5. 振返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1)今後の事務事業の方向性				(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→維持		特になし					
② コスト(予算)の方向性		→維持							

1. 基本情報									
事務事業名		1787－墓地維持管理事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名		1. 良質な住環境の整備			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。			算	款	04	衛生費		
				科	項	02	環境衛生費		
				目	目	01	環境衛生総務費		
				事業期間		昭和55年代～			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		墓地、埋葬等に関する法律、霧島市営墓地の設置及び管理に関する条例等		
	①市民		①安心して住宅に住めるようになる		関連計画		特になし		
2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>									
市営墓地の適切な管理を行うとともに、共同墓地運営を支援する事業。 【市営墓地】 ・宇都墓地、久保山墓地公苑、しもづる墓地公苑 【共同墓地の持続性確保等を目的とした支援】 ・共同墓地の水道料金助成等									
対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)	
ア	市営墓地の利用者	利用区画数		区画	584	584	584	584	
イ	共同墓地	共同墓地数		箇所	322	322	322	322	
ウ					0	0	0	0	
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)	
ア	公衆衛生その他公共の福祉の見地から、埋葬等が支障なく行われる	利用率		%	92	93	91	92	
イ	共同墓地の持続性が保たれる	共同墓地廃止数		箇所	0	0	0	0	
ウ					0	0	0	0	
3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果				
事業費(千円)		3,122	3,893	4,079	市営墓地の空き区画の利用希望者を市HP等で募り、埋葬等が支障なく行われるよう努めた。(宇都墓地 事前相談:2件) また、市営墓地を快適に利用できるよう、草払い等を実施し、適正な維持管理を行った。 共同墓地については、水道料金の助成等を行うことにより、墓地経営の持続性が保たれるよう支援した。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	182	124	143					
一般財源		2,940	3,769	3,936					
5. 振返り<SEE (check)>									
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか					結びついている		
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か					市が実施することは妥当である		
	③	廃止・休止の影響はあるか					影響がある		
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか					向上する余地はない		
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか					削減できない		
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか					削減できない		
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか					公平・公正である		
6. 評価結果<(Action-PLAN)>									
(1)今後の事務事業の方向性				(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)					
① 事業(成果)の方向性		→ 維持		事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。					
② コスト(予算)の方向性		→ 維持							

1. 基本情報							
事務事業名 1789 ー 生活排水対策推進計画策定及び進行管理事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属 環境衛生課					
施策名 3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名 4. 水の安定供給と適正な排水処理		予 算 科 目	会 計 項 目	01	一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)	①「安全でおいしい水の供給」「災害等からの迅速な復旧」「健全・安定的な事業運営」の3つの観点から水の安定供給を目指します。 ②下水道整備や合併処理浄化槽の普及推進・適正管理など、地域の実情に応じた排水処理を推進します。		04	衛生費			
			02	環境衛生費			
			02	環境対策費			
			事業期間 平成18年度～				
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 環境基本法、水質汚濁防止法		
	①②市民・事業者		①安全でおいしい水を利用できる ②排水を適切に処理してもらう		関連計画 第二次霧島市環境基本計画、第二次霧島市生活排水対策推進計画		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
水質汚濁防止法に基づく生活排水対策重点地域に指定されている本市の公共用水域等の状況を把握する事業。主に河川や事業場排水等の水質調査を行う。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 河川(用排水路含む)	延べ調査地点数	地点	122	122	122	122
イ 事業場(用排水路含む)	延べ調査地点数	地点	50	50	49	50
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア 河川水質を保全する	河川水質達成率	%	86	90	83	90
イ 事業場排水を適正に処理する	指導文書送付事業場数	事業所	11	10	13	10
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果	
事業費(千円)		2,347	2,412	2,420	河川及び事業場排水の水質調査を実施することにより、水質汚濁状況の経年変化が把握でき、今後の生活排水対策等における基礎資料とすることができた。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	【河川水質調査】 調査回数: 年2回(8月～9月の灌漑期、11月～12月の非灌漑期)	
	県支出金	0	0	0	調査地点: 61地点	
	地方債	0	0	0	【事業場排水調査】 調査回数: 年2回(8月～9月の灌漑期、11月～12月の非灌漑期)	
	その他	0	0	0	調査地点: 35地点	
	一般財源	2,347	2,412	2,420		

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名		1791 - 植林地維持管理事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名		1. 自然環境の保全		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	02	環境衛生費
						目	02
					事業期間		令和3年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①森林 ②野生動植物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される		関連計画		第二次霧島市環境基本計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
10万本植林プロジェクト植林地の維持管理を行う事業。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 植林地外周部	植林地外周部面積	m ²	1,904	1,904	1,904	1,904
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア 生育環境及び景観を保全する	除草等実施面積	m ²	2,504	1,904	1,904	1,904
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果	
事業費(千円)		587	390	414	除草作業等を実施したことにより、10万本植林プロジェクト植林地の景観及び生育環境の保全が図られた。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	500	300	400		
一般財源		87	90	14		

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	特になし	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名		1795 ― 生物多様性保全推進事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名		1. 自然環境の保全		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。	算	科	目	款	04	衛生費
					項	02	環境衛生費
					目	02	環境対策費
					事業期間		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		生物多様性基本法
	①森林 ②野生動植物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される		関連計画		霧島市生物多様性推進プラン

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

霧島市生物多様性推進プランに目標として掲げた「生物多様性の考え方の普及および重点施策における生物多様性の保全・回復」を実現するための事業。主に市民を対象とした環境学習会の開催やクリスマスツツジの認知度向上に取り組む。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 市民	人口	人	122,442	123,101	121,379	122,830
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア 生物多様性に関する理解が深まる	生物多様性について知っている市民の割合(市民意識調査)※令和5年度未実施	%	0	73	0	75
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)	15	18	17	生物多様性については、出前講座を実施し、意識啓発を図った。 また、クリスマスツツジに係る取組については、写真展を開催することで、認知度の向上に努めた。 【生物多様性に関する出前講座】 出前講座:1回 参加者:126名 【クリスマスツツジ写真展】 開催期間:令和6年4月2日～4月29日 場所:国分シビックセンター1階共通ロビー 【クリスマスツツジオープンガーデン】 開催期間:令和6年4月1日～4月10日 場所:宮地家 溝辺町麓地区
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	15	18	17

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持		
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名		1796 ― 衛生確保対策事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名		3. 環境保全意識の向上		予 算		01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			算 科		04	衛生費
				項 目		02	環境衛生費
				目 目		02	環境対策費
				事業期間		平成26年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画		第二次霧島市環境基本計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

災害時の防疫や不快害虫の駆除を行う事業。主に災害防疫対策やヤンバルトサカヤスデ対策を行う。

【災害防疫対策】

大雨等による家屋の床上・床下浸水が発生した場合に、感染症の原因となる病原体の蔓延を防止するため、被災家屋及びその周辺の速やかな消毒を実施する。

【ヤンバルトサカヤスデ対策】

平成25年に本市では初めて確認された、外来生物のヤンバルトサカヤスデ(不快害虫)を根絶するため、地域住民と協力して駆除を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 市民	床上・床下浸水発生回数	回	2	0	2	0
イ 市民	ヤンバルトサカヤスデ発生箇所数	箇所	1	0	5	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア 感染症の発生を防止する	感染症の発生回数	回	0	0	0	0
イ 快適な生活環境を確保する	新たな発生箇所数	箇所	1	0	4	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)	577	509	622	【災害防疫対策】 6月の大雨で床上・床下浸水が発生したことから、感染症予防のため被害を受けた家屋などの消毒作業を実施し衛生の確保を図った。 ・6月20日大雨に伴う消毒作業件数:1件 ・6月25日大雨に伴う消毒作業件数:1件 【ヤンバルトサカヤスデ対策】 ヤンバルトサカヤスデについては、昨年度と同じ1地区で大量発生が確認され、業者委託による駆除(薬剤散布)を実施した。また、新たに発生が確認された4地区を含めた5地区において、ヤンバルトサカヤスデの家屋への浸入を防止し、快適な環境づくりに寄与するため、ヤスデ駆除剤を希望者に配布した。 ・業者委託による駆除回数(薬剤散布回数):1回
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	577	509	622

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持		
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名 1798 ー 河川景観保全アダプト(里親)制度推進事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属 環境衛生課			
施策名 1. 自然と共生する良好な生活環境の形成							
基本事業名 3. 環境保全意識の向上				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	02	環境衛生費
					目	02	環境対策費
					事業期間 平成23年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	天降川等河川環境保全条例、霧島市環境基本条例	
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画	第二次霧島市環境基本計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

河川景観保全に取り組む団体を河川アダプト団体として登録し、登録団体が河川堤防等で行う草払いなどの活動を支援する事業。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	市民	人口	人	122,442	123,101	121,379	122,830
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	アダプト制度に登録し、美化活動に取り組む	アダプト制度に登録した市民の数	人	3,308	3,700	3,109	3,500
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		8,280	8,682	9,662	令和6年度は新規登録が9団体、廃止が9団体となった。休止団体を除く148団体(活動後廃止を含む)が、河川堤防の除草作業・ごみ拾いを行ったことで、河川景観の保全が図られた。 【令和6年度登録団体数等】 年度当初登録団体数:156団体 新規登録団体数:9団体 廃止団体数:9団体 年度末登録団体数:156団体
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	8,200	8,600	9,600	
	一般財源	80	82	62	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持		
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報								
事務事業名	1799 ― 国分斎場管理運営事業							
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名	1. 良質な住環境の整備			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。			算	款	04	衛生費	
				科	項	02	環境衛生費	
				目	目	03	火葬場費	
				事業期間		平成2年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市火葬場の設置及び管理に関する条例	
	①市民		①安心して住宅に住めるようになる				霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
霧島市国分斎場の維持や管理運営を行う事業。火葬炉等設備や建物等の修繕については市が行い、管理運営については指定管理者が行う。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	火葬等	火葬等件数	件	2,592	2,400	3,084	3,000
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	公衆衛生その他公共の福祉の見地から、火葬が支障なく行われる	火葬等を行う際に支障があった件数	件	0	0	0	0
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		142,912	201,590	160,241	火葬等件数が増加する中で指定管理者と連携を図り火葬等が滞りなく行われた。 また、平成2年度に供用を開始し、老朽化した火葬炉設備の更新工事を令和5年度から令和7年度まで行う計画とする中で、令和6年度は火葬炉3基の更新を行った。 ○火葬等件数 火 葬:1,583件 改葬等:1,501件
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	106,312	71,219	69,108	
	一般財源	36,600	130,371	91,133	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	計画的に火葬炉の定期修繕を行うことで将来に向けた施設の安定運転につなげる。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名		1803 ― 資源物中間処理・保管事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名		1. ごみの減量化・資源化		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。	算	科	目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	02	塵芥処理費
					事業期間		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律
	①②市民・事業者		①②ごみの減量・資源化に取り組む		関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画、霧島市分別収集計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

家庭、事業所から排出・回収された資源物の中間処理・保管業務を民間事業者に委託し、ごみの適正処理及びリサイクルを推進する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 市民が排出する資源物	搬入された資源物(紙類を除く)の量	t/年	1,859	1,800	1,569	1,500
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア 適正に中間処理・保管され搬出される	中間処理施設から適正に搬出された資源物(紙類を除く)量	t/年	1,761	1,700	1,512	1,500
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)	71,279	69,993	75,482	資源物(紙類を除く)の中間処理及び保管業務が適正に行われ、循環型社会の構築に貢献した。資源物の搬入量は「容器包装プラスチック」や「乾電池」以外は昨年と比べて減少した。民間の回収ボックスが増えてきた影響と推察する。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	69,800	69,993	75,470
	一般財源	1,479	0	12

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持 プラスチック製品のリサイクルについては市町村に努力義務が課せられている。県内でも取組む自治体が増えてきた。容器包装プラスチックと一緒に収集することで市民も分別しやすくなることから、早めに取り組む必要がある。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持

1. 基本情報									
事務事業名		1804 ― 資源物分別基準適合物再商品化事業							
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名		1. ごみの減量化・資源化			予 算 科 目		01 一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)		①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。					04 衛生費		
					03 清掃費				
					02 塵芥処理費				
					事業期間				
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	
		①②市民・事業者		①②ごみの減量・資源化に取り組む		関連計画		特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
容器包装リサイクル法に基づき、回収されたペットボトル・その他プラ・生きびん以外のびん類の再商品化を行う。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 回収された再商品化対象の資源物	回収された再商品化対象の資源物の量	t/年	1,258	1,250	1,226	1,250
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア きちんと再商品化される	再商品化された資源物の量	t/年	1,258	1,250	1,226	1,250
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果	
事業費(千円)		571	1,075	1,137	容器包装リサイクル法に基づき、指定法人である(公財)日本容器包装リサイクル協会に委託し、分別基準適合物(資源物)の再商品化業務が適正かつ安定的に行われた。また、同協会を通じて処理を行うことにより、容器包装の再商品化に係る処理費用を製造業者、使用者、市町村の3者で負担することで市の財政負担が少ない形で事業を実施できた。 (公財)日本容器包装リサイクル協会(指定法人)への搬出量 びん類(生きびん除く) 571t ペットボトル 144t プラスチック製容器包装 385t 合計 1,100t 市とサントリーホールディングス(株)と協定を締結し、ペットボトルの水平リサイクルの推進を目的とした活動を行った。 ペットボトル 126t 全体計 1,226t	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	571	1,075	1,137		

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	プラスチック製品のリサイクルについては市町村に努力義務が課せられている。県内でも取組む自治体が増えてきた。容器包装プラスチックと一緒に収集することで市民も分別しやすくなることから、早めに取り組む必要がある。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名		1805 ー 資源物分別収集推進補助事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名		1. ごみの減量化・資源化		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。	算	科	目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	02	塵芥処理費
					事業期間		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	①②市民・事業者	①②ごみの減量・資源化に取り組む					
				関連計画		霧島市環境基本計画、霧島市一般廃棄物処理計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

資源物の分別を啓発している自治会に補助金を交付する事業

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 家庭から排出されるごみ	家庭から排出されるごみの量	t	24,419	24,419	23,500	23,500
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア きちんと分別されて出される	リサイクル協力率	%	6	7	6	7
イ きちんと分別されて出される	違反シールの貼付枚数	枚	0	5,000	23,445	23,445
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)	14,590	14,520	14,374	補助金交付団体数 785自治会 対象世帯数38,820世帯(うち未加入者利用世帯数4,683世帯) 補助金交付額合計 14,469,300円 家庭系資源物の回収量 1,574t
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	14,590	14,520	14,374
	一般財源	0	0	0

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持		
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報								
事務事業名 1808 ー 蛍光灯・乾電池処理事業								
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課		
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名		2. ごみの適正な排出・処理		予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	科	目	04	衛生費
						項	03	清掃費
						目	02	塵芥処理費
						事業期間		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし	
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
家庭から排出、回収された蛍光灯・乾電池の中間処理、運搬及び処分を民間業者に委託し、有害ごみの適正処理やリサイクルを推進する。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 回収された蛍光灯・乾電池	回収された蛍光灯・乾電池の量	t/年	40	40	39	39
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア 適正に運搬・処理が行われる。	適正に搬出された蛍光灯・乾電池の量	t/年	38	38	36	36
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果	
事業費(千円)		3,579	3,825	4,354	有害ごみとして分別収集を行うことで、適正な排出が図られた。回収した有害ごみは適正に運搬・処理が行われ、資源化された。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	搬入量 搬出量 蛍光灯 7t 7t 乾電池 32t 29t 計 39t 36t	
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	3,579	3,825	4,354		

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	リチウムイオン電池等による火災等が発生しており、分別収集を徹底する必要がある。ごみ収集所での回収について検討する必要がある。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 1809 - ごみステーション設置費等補助事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属 環境衛生課			
施策名 2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名 2. ごみの適正な排出・処理				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	02	塵芥処理費
				事業期間			平成11年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金等交付規則
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市環境基本計画、霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

ごみの適正処理・減量化に資するため、自治会がごみステーションの新設・改修を実施する際に必要な経費を補助する事業

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 自治会管理のごみ収集所	自治会管理のごみ収集所数	箇所	1,716	1,716	1,726	1,726
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア 衛生的に運用される	整備されたごみ収集所数	箇所	30	36	37	36
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)	1,618	2,398	2,150	資源物収集所 21箇所 1,688,000円 可燃ごみ収集所 16箇所 710,000円 合計 37箇所 2,398,000円
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	1,618	2,398	2,150
	一般財源	0	0	0

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持		
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名		1810 - ごみ適正処理啓発事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名		2. ごみの適正な排出・処理		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
						目	02
					事業期間		平成9年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		循環型社会形成推進基本法
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される				
				関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

自治会ごみ収集所等に必要なコンテナ等の消耗品の購入や、ごみの適正排出を促すために不適切に排出されたごみに貼る「ごみ出し警告ラベル」の作成を行う事業

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 家庭から排出されるごみ	家庭から排出されるごみの量	t	24,419	24,419	23,500	23,500
イ 市民	分別アプリのダウンロード数	DL	2,437	2,437	2,404	2,404
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア きちんと分別されて出される	違反シールの貼付枚数	枚	0	5,000	23,445	23,445
イ 正しいごみの出し方を理解する	アプリのアクセス数	アクセス	191,375	191,375	231,257	231,257
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)	403	337	0	廃食用油用ポリ容器購入 126個 ごみ出し警告シール購入 30,000枚
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	403	337	0

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持		
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名		1811 ー 家庭ごみ減量化対策機器等購入補助事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名		1. ごみの減量化・資源化		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。	算	科	目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	02	塵芥処理費
					事業期間		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金等交付規則	
	①②市民・事業者	①②ごみの減量・資源化に取り組む					
				関連計画		霧島市環境基本計画、霧島市一般廃棄物処理計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

ごみの減量化やリサイクルを推進するため、電気式生ごみ処理機等の一層の普及を図る事業。霧島市環境保全協会を通じて市民へ補助を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 市民	10月1日世帯数	世帯	57,323	57,193	57,700	57,505
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア ごみの減量化に取り組む	減量化機器を購入した市民の数	世帯	30	30	54	64
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)	553	580	580	市から霧島市環境保全協会へ補助金交付金額 580,000円 【事業実績】 申請件数 54件 交付金額 1,026,000円
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	553	580	580
	一般財源	0	0	0

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持		
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報								
事務事業名 1812 ー 家庭系一般廃棄物収集運搬事業								
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課		
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名		2. ごみの適正な排出・処理		予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	科	目	04	衛生費
						項	03	清掃費
						目	02	塵芥処理費
				事業期間		平成9年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律 循環型社会形成推進基本法	
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
一般家庭から出るごみの収集運搬業務を民間会社に委託し、ごみ処理を適正かつ効率的に行う事業							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 家庭から排出されるごみ	ごみ収集所数	箇所	1,716	1,716	1,762	1,762
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア 適切に収集運搬される	収集忘れの問い合わせの件数	件	0	0	0	0
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果	
事業費(千円)		317,381	331,344	321,498	一般廃棄物の収集運搬を遂行するに足る施設、人員及び財政的基礎を有し、業務の実施に相当の経験を有する民間業者に委託したことにより、各地区の収集運搬を効率的かつ円滑に行った。 収集した家庭ごみの量 可燃ごみ 20,143t 不燃・粗大ごみ 1,885t 資源物 1,474t 計 23,502t	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	314,176	315,393	319,661		
一般財源		3,205	15,951	1,837		

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	人口やごみ排出量の推移を注視しながら、収集所の統廃合や収集回数の見直しについて検討をしていく必要がある。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1814 ― ボランティア清掃廃棄物処理事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。		算	款	04	衛生費
			科	項	03	清掃費
			目	目	02	塵芥処理費
			事業期間			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等		特になし	
	①市民・事業者 ②廃棄物	①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される				
			関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

自治会等が道路・側溝等のボランティア清掃を行った際に出る草木、土砂等の収集運搬・処分を民間業者等に委託し、適正に処理する事業

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	自治会内の環境	自治会数	団体	829	829	830	830
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	きれいになる	草刈作業回数	回	430	430	429	430
イ	きれいになる	刈草の運搬台数	台	1,262	1,262	1,371	1,371
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		7,641	8,640	8,157	作業回数はコロナで活動を自粛する前の状態に戻ってきた。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	事業を活用した自治会等の延べ数 国分地区 自治会 運搬量 527台 溝辺地区 自治会 運搬量 130台 横川地区 自治会 運搬料 84台 牧園地区 自治会 霧島地区 自治会 運搬料 42台 隼人地区 自治会 運搬料 584台 福山地区 自治会 運搬料 4台 合計 自治会 運搬料 1,371台
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	7,600	8,000	8,100	
	一般財源	41	640	57	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	自治会長の申請の負担を軽減するため、電子申請を検討する。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名		1815 ー 不法投棄対策事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名		2. ごみの適正な排出・処理		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
						目	02
					事業期間		平成7年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		廃棄物処理法・霧島市環境美化条例
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される				
				関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携しながら環境パトロールや看板設置及び啓発活動を行うとともに、不法投棄ごみの回収及び適正処理を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	市民	10月1日人口	人	122,442	123,101	121,379	122,830
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	不法投棄をしてはいけないことを認識する	不法投棄に関するホームページ閲覧数	件	212	200	171	200
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		578	384	4,062	不法投棄禁止看板を作成し、環境美化推進員や環境保全協会と協力して看板の設置や環境パトロール等を行った。 (閲覧件数実績はR7年3月31日現在の件数)
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	98	37	850	
	一般財源	480	347	3,212	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持		
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名	1816 ― ごみ処理場管理運営事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	款	04	衛生費
				科	項	03	清掃費
				目	目	02	塵芥処理費
				事業期間		平成15年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市敷根清掃センターの設置及び管理に関する条例
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市一般廃棄物処理基本計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
霧島市敷根清掃センターの維持や管理運営を行う事業。焼却設備の運転等については委託事業者が行い、ごみの受付や選別等は市が行う。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	家庭系ごみ、事業系ごみ	搬入量	t	37,461	38,500	33,860	37,000
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	ごみが適正に処理される	ごみ処理量	t	37,344	38,500	31,036	37,000
イ	適切に管理・運営される	排ガス測定検査でダイオキシンの基準値 Ing-TEQ/gを超えた回数	回	0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		1,123,057	1,158,793	1,004,292	ごみ処理設備の火災等により、他市等へごみ処理を依頼することがあったものの、メーカーや委託業者と連携を図り環境基準を遵守しながら、継続的にごみ処理が行えた。 ○ごみ搬入量 可 燃 : 31,418t 不燃・粗大 : 2,442t
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	257,316	140,716	172,869	
	一般財源	865,741	1,018,077	831,423	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	令和8年3月に竣工を予定している「(仮称)霧島市クリーンセンター」が稼働するまでの間、関係各所と連携を図り、安定したごみ処理を目指す。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報								
事務事業名	1817 ー 安定型最終処分場管理運営事業							
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課		
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	款	04	衛生費	
				科	項	03	清掃費	
				目	目	02	塵芥処理費	
				事業期間		昭和40年代		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市一般廃棄物最終処分場の設置及び管理に関する条例	
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される				霧島市一般廃棄物処理基本計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
陶磁器等の安定品目を処分するため、市内の安定型最終処分場の管理運営を行う事業。運営はシルバー人材センターへ委託し、処分場の整備や管理は市が行う。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	安定品目の不燃ごみ	搬入台数	台	828	900	841	900
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	適正に処理される	処分場の開場日数(各処分場合計)	日	72	72	72	72
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果		
事業費(千円)		2,040	2,553	2,515	陶器・ガラス等の安定品目が適正に処理された。また、草刈りや整地を行うことで処分場の適正管理が図られた。 ○搬入台数 841台		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	2,040	2,553	2,515			

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	1819 ー（仮称）霧島市クリーンセンター整備・運営事業						
政策名	2. 暮らし（みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり）			所属	環境衛生課		
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 （総合計画より）	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	款	04	衛生費
				科	項	03	清掃費
				目	目	02	塵芥処理費
				事業期間		令和元年度～令和7年度	
基本事業の対象・意図	対象（誰・何を）		意図（どうしたいか）		根拠法令 条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市一般廃棄物処理計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
新しいごみ処理施設「(仮称)霧島市クリーンセンター」の整備等を行う事業							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	整備状況	整備進捗率	%	12	50	60	100
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	当該事業の管理を適正に行う	計画に対する整備進捗率	%	12	50	60	100
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		980,119	2,404,465	10,694,180	新しいごみ処理施設(仮称)霧島市クリーンセンターの整備が計画のとおり進捗した。 ○工事進捗率 建 築:6階や外壁工事など全体の約70%が完了 プラント:ボイラーや各コンベア施工など全体の約52%が完了 全体工程:全体工程の約60%が完了
財源内訳	国庫支出金	235,325	699,725	3,402,292	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	513,900	1,425,100	6,233,600	
	その他	200,000	200,000	650,000	
	一般財源	30,894	79,640	408,288	

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 1820 し尿処理場管理運営事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属 環境衛生課			
施策名 2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名 2. ごみの適正な排出・処理				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	03	し尿処理費
				事業期間			平成11年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市し尿処理場の設置及び管理に関する条例等
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市一般廃棄物処理基本計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

霧島市南部し尿処理場及び牧園・横川地区し尿処理場の維持や管理運営を行う事業。し尿処理設備や建物等の修繕については市が行い、管理運営については指定管理者が行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア し尿・浄化槽汚泥	し尿・浄化槽汚泥搬入量(2施設の合計)	kℓ	69,503	68,000	68,842	69,000
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア し尿等が適正に処理される	し尿・浄化槽汚泥処理量(2施設の合計)	kℓ	69,503	68,000	68,842	69,000
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)	234,602	237,386	240,274	必要な施設設備の補修を行い、排出基準を遵守しながらし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理した。また、搬入道路等の清掃を定期的に行うなど環境美化に努めた。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	12,169	12,054	12,175
	一般財源	222,433	225,332	228,099
○汚泥搬入量 し尿汚泥:13,798kℓ 浄化槽汚泥:55,044kℓ				

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→維持	計画的にし尿処理場の定期修繕を行うことで将来に向けた施設の安定運転につなげる。
② コスト(予算)の方向性	→維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2211 ー 海岸漂着物対策推進事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名	1. 自然環境の保全			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。			算	款	04 衛生費
				科	項	02 環境衛生費
				目	目	02 環境対策費
				事業期間		平成22年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	海岸漂着物処理推進法
	①森林 ②野生動植物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される		関連計画	霧島市環境基本計画

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	海岸	海岸延長	m	33,344	33,344	33,344	33,344
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	ごみがない状態に保つ	海岸漂着物の回収量	t	18	50	37	58
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		349	1,841	2,310	漂着物が確認された沿岸地域(海岸延長2,750m)において、沿岸地域の公民館等のボランティアと連携を図り、民間事業者委託により回収処理を実施し、海岸の良好な景観の保全を図った。漂着物の量や場所によっては職員で回収処分を行った。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	243	1,490	1,636	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	106	351	674	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 2671 - 牧園横川クリーンステーション管理運営事業							
政策名 2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属 環境衛生課			
施策名 2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名 2. ごみの適正な排出・処理				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	02	塵芥処理費
				事業期間			令和5年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		牧園横川クリーンステーションの設置及び管理に関する条例
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

伊佐北始良環境管理組合から本市が脱退することに伴い、横川町・牧園町の方がごみを直接搬入できるごみ集積場を整備・運営するもの。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	市民	利用台数	台	9,341	9,341	6,817	6,817
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	気持ちよくステーションを利用できる	利用台数に対する苦情の割合	件	65	65	41	41
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		21,849	24,105	27,221	供用開始から時間が経過し、利用者が慣れてきたため、苦情件数は減少した。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	搬入量 もえるごみ 80,020kg もえないごみ 22,900kg 粗大ごみ 135,090kg 資源物 41,900kg
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	21,800	24,000	27,183	
	一般財源	49	105	38	

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持		
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名	2710 ー 高齢者等ごみ戸別収集事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属		環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算 科 目	款	04	衛生費
					項	03	清掃費
					目	02	塵芥処理費
				事業期間		令和5年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される				
					関連計画		一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
高齢化社会や核家族化の進展等に伴い高齢者や障がい者のみの世帯が増加することにより、家庭からの日々のごみ出しに課題を抱える事例も生じており、これらの課題を解決するため、シルバー人材センター等へ委託し、戸別収集する事業							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	利用者	利用者数	人	54	70	64	70
イ	利用者	利用回数	回	988	988	1,847	2,000
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	適切にごみを出すことができる	利用回数に対する苦情の割合	件	2	0	0	0
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		113	211	385	居宅相談支援事業所と連携し、ごみ出しが困難な方へ利用を促すとともに、利用者へのルールの遵守を徹底した。 新規申請者 29人
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	100	200	300	
	一般財源	13	11	85	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できる
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	申請受付から決定通知、実績管理までスムーズに行うことができるように利用管理システムの構築を検討する。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名		2735 霧島市環境保全協会活動補助事業					
政策名		2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名		1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名		3. 環境保全意識の向上		予 算 科 目		01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)		①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。				04	衛生費
				02	環境衛生費		
				01	環境衛生総務費		
				事業期間		令和6年度～	
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	
		①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		特になし	
				関連計画			

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

環境衛生思想の普及啓発や地域の生活環境の改善・向上のための活動を推進する霧島市環境保全協会に対し、補助金を交付することにより、市民の福祉増進を図る。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	市民	人口	人	122,442	123,101	121,379	122,830
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	環境保全活動に取り組む	協会の活動に参加した人数	人	0	0	96,470	98,774
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		0	23,839	18,523	霧島市環境保全協会の各支部で実施した美化活動に多くの市民が参加し、地域の環境美化が保たれた。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	23,839	18,523	

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持		
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報								
事務事業名	2736 ― 指定ごみ袋販売事業							
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属		環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名	1. ごみの減量化・資源化				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。				算 科 目	款	04	衛生費
						項	03	清掃費
						目	02	塵芥処理費
					事業期間		令和6年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	
	①②市民・事業者		①②ごみの減量・資源化に取り組む		関連計画			

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

ごみの排出抑制や資源化を推進するとともに、ごみの排出量に応じた処理費用の負担の公平性を確保するため、指定ごみ袋の製造販売を市が直接行い、販売費用をごみ処理手数料として徴収する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア 市民	人口	人	122,442	123,101	121,379	122,830
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア ごみを減らす	家庭から出るもえるごみの量	t	20,897	0	20,143	20,143
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		0	146,178	128,548	指定ごみ袋の販売枚数 もえるごみ袋 6,178,690枚 資源物袋 986,550枚 もえないごみ袋 344,640枚
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	指定ごみ袋の売上額 146,376,640円
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	146,178	107,463	
	一般財源	0	0	21,085	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持		
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報						
事務事業名	2768 ― 地域猫活動推進事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		所属		環境衛生課	
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名	3. 環境保全意識の向上		予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。		算	款	04	衛生費
			科	項	02	環境衛生費
			目	目	01	環境衛生総務費
			事業期間		令和6年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等		霧島市飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金交付要綱 霧島市さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)	
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等	①②環境保全意識が向上する				
			関連計画		特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

【地域猫活動推進事業】

地域猫活動及びTNR活動の取組を推進するため、飼い主のいない猫の不妊去勢手術を実施しようとする団体に対し、不妊去勢手術費の補助を行うことで、飼い主のいない猫に起因する地域課題(ふん尿、鳴き声被害等)の解決を目指す。

【さくらねこ無料不妊手術事業】

公益財団法人どうぶつ基金が発行する行政枠用のさくらねこ無料不妊手術チケットを配布し、不妊去勢手術を行うことで、飼い主のいない猫に起因する地域課題(ふん尿、鳴

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	地域猫活動等を行う団体(地域猫活動推進事業)	不妊去勢手術申請頭数	頭	0	100	151	100
イ	地域猫活動等を行う団体・個人(さくらねこ無料不妊手術事業)	不妊去勢手術申請頭数	頭	176	200	233	200
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	繁殖抑制のための不妊去勢手術を実施する(地域猫活動推進事業)	不妊去勢手術済頭数	頭	0	100	92	100
イ	繁殖抑制のための不妊去勢手術を実施する(さくらねこ無料不妊手術事業)	不妊去勢手術済頭数	頭	10	30	46	50
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		0	775	1,170	【地域猫活動推進事業】 地域猫活動等を実施する2名以上の団体に対し、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費を補助することで、生活環境被害等の軽減に努めた。 補助金を利用して手術を行った頭数:92頭 【さくらねこ不妊手術事業】 地域猫活動等を実施する団体・個人に対し、無料不妊去勢手術チケットを配布することで、飼い主のいない猫に起因する生活環境被害等の軽減に努めた。 チケットを利用して手術を行った頭数:46頭
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	706	1,100	
	一般財源	0	69	70	

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	本事業は「クラウドファンディング型ふるさと納税」を利用して集めた金額を補助金に充当している。 本事業を広く周知するため、市内の団体等にもお願いし、広報を行っていきたい。 また、同一事業における2回目以降のクラウドファンディングは、寄付が集まりにくい傾向があるため、継続的に行っていくためにも、他市の取組等の聞き取りを行っていく必要がある。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	